

# 高校教育研究委員会 2017年度 第3回公開研究会

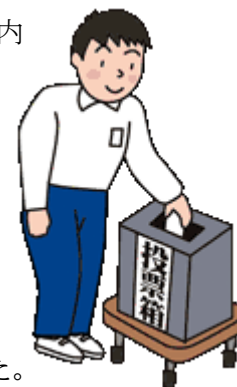
## 次期学習指導要領を乗り越える主権者教育を！ ～すべての高校生の学び・成長を保障する高校教育を～



2月14日に高校学習指導要領案が発表され、パブリックコメントを実施し、今年度内に改訂告示が予定されています。

文部科学省のねらいは高校教育を変え、国が定める「資質・能力」の子どもたちへの押しつけを幼稚園から小・中・高校まで貫くことです。そのために「高大接続改革」で大学入試制度を大きく変え、高校が変化を受け入れざるを得ない状況をつくり出そうとしています。

今年度の公開研究会は、1回目が「高大接続改革について」、2回目が「次期高校学習指導要領について」をテーマに実施しました。



こうした高校教育をめぐる情勢学習・批判検討を経て、いよいよその先にある“実践”にスポットをあてた研究会となります。学習指導要領を乗り越える実践とはどのようなものか、大いに学び合い、交流しましょう。

- 日時：3月24日（土）17：00～19：00
- 会場：全労連会館 2階大ホール
- 報告：宮下与兵衛さん（首都大学東京 特任教授）

「すべての生徒に主権者教育を保障する教育課程を【仮題】」

報告：高校生・大学生

「主権者教育の必要性を語る【仮題】」

問い合わせは 全日本教職員組合(全教)まで

TEL 03(5211)0123 E-mail zenkyo@educas.jp